

出版業者 Humphrey Moseley の仕事

James Shirley の作品をめぐる

The Work of Humphrey Moseley Examined by his Publications of James Shirley's Plays

石原 万里

福島工業高等専門学校、一般教科

Mari Ishihara

Fukushima National College of Technology, Department of General Education

(平成20年9月24日受理)

Humphrey Moseley was a publisher who published some drama texts of Royalists during the Commonwealth of England in the late 17th century. His work as a publisher of the folio of Beaumont and Fletcher had a large influence over both publishers and dramatists while the theatres were closed. This paper aims to demonstrate his work through carefully examining his publications of James Shirley's plays: two copies of *Six New Playes*, and three copies of *The Gentleman of Venice*, all of which are holdings of the British Library.¹⁾

Key words: Humphrey Moseley, James Shirley, book trade, publishers, Caroline drama, *Six New Playes*

1. はじめに

Humphrey Moseley は、1645年から1660年まで毎年6冊から28冊の書物を出版した、まさに Cromwell の共和制の時代に活躍した出版業者の一人である。生年は明らかではないが、1620年に出版業者の徒弟となり、1627年に独立して仕事を始めている。1634年以降、the sign of The Prince's Arms in St Paul's Church-yard (St Paul 寺院境内の皇太子の紋章の看板) の元から、大陸からのロマンスの翻訳、劇、詩集、など多くの出版物を出版し、王政復古直後の1661年1月に亡くなっている。²⁾

1596年生まれ、James Shirley は、1625年から約40年の戯曲を書いた劇作家である。1642年の劇場閉鎖直前には国王チャールズ一世をパトロンに頂く King's Men の座付き作家として活躍していたが、劇場閉鎖のために劇を書くことをやめ、1660年に、劇場が再開されてからも劇壇に戻ることはなかった。ロンドン大火の後、1666年10月に亡くなっている。

1642年に書かれた *The Court Secret* が劇作としては Shirley 最後の作品である。この作品は1653年に Humphrey Moseley によって出版され、王政復古後1664年に上演されている。劇場閉鎖のために、1642年、

1653年、1664年と約10年の間隔で、原稿が、それぞれ、作家の手に、出版業者の手に、劇団関係者の手にあったはずである。そのような稀有な運命をたどったせいなのか、この作品には manuscript が残されている。この manuscript は作家の自筆原稿ではなく、scribe によって消書された原稿であると考えられている。だが、この残された手書き原稿と出版されたテキストの間には異同がある。1653年の出版元となった manuscript と、現存する manuscript は別々に存在していたようである。また、王政復古後に上演されたテキストは1653年の出版テキストではなく、残されている manuscript の方であると考えられている。そこには出版業者 Moseley が深く関わっていたようである。³⁾

Humphrey Moseley によって出版された Shirley の出版物は、*Poems* (1646)、*Six New Playes* (1653)、*The Politician*、*The Gentleman of Venice* (共に1659)である。いずれも、劇場閉鎖の時代に出版された出版物である。本論では、共和制の時代に王党派であることをはばからず、元王の庇護にあった劇作家の作品を世に出した出版業者 Moseley と作品の上演機会を失った劇作家 Shirley との関係について考察する。特に、

大英図書館が所有している、*The Court Secret* が中に収められている戯曲集 *Six New Playes*² 冊と *The Gentleman of Venice*³ 冊を中心に、Moseley の仕事を整理、考察したい。

2. Beaumont & Fletcher の

Comedies, Histories & Tragedies 出版

劇場が閉鎖される 1642 年まで、新しい芝居は quarto 版（四つ折本）で、全集は folio 版（二つ折本）で出版されるのが普通であった。元になったテキストが、作家の foul paper から、劇団の所有となり、その後出版業者に売られて出版の運びになったテキストであろうと、芝居がまだ上演されている間に、劇団員が記憶を元に、劇を出版業者に売ることによって世に出た海賊版であろうと、一作一作の劇は quarto 版となって出版されていた。その一方で、Ben Jonson の全集は 1616 年に *The Works of Benjamin Jonson* として、Shakespeare の全集は 1623 年 *Comedies, Histories & Tragedies* として、folio 版で出版され、どちらも、その後、版を重ねている。全集には、肖像画が印刷され、芝居の本文が始まる前に、賛辞の言葉が多くの人から寄せられている。

Humphrey Moseley の出版した劇作品の中でも最も重要なのが、1647 年の Francis Beaumont と John Fletcher 作の *Comedies and Tragedies* の folio 版であると多くの研究者は考えている。この版は、Humphrey Robinson と Humphrey Moseley 二人による出版であるが、Robinson は財政面の援助をし、Moseley 一人の働きで出版されているようである。Ben Jonson、Shakespeare の 2 冊の folio 版が、始めて印刷される作品と過去に出版された quarto 版のテキストとをあわせた全集であるのに対して、Beaumont & Fletcher の folio 版に収められている 34 作品は、始めて出版される作品ばかりである。戯曲の前に印刷されている多くの賛辞の言葉の中に、出版業者からの言葉（*The Stationer to the Reader*）も存在し、Moseley は次のように書いている。

Some *Playes* (you know) written by these *Authors* were heretofore Printed: I thought not convenient to mixe

them with this *Volume*, which of it selfe is entirely New.... Besides, I considered those former *Pieces* had been so long printed and re-printed, that many *Gentlemen* were already furnished; and I would have none say, they pay twice for the same *Booke*. (sig.A4)⁴

過去に出版された作品をこの folio 版に入れなかった理由として、「同じ本に 2 度支払ったと誰にも言わせたくなかった」と書く Moseley に、出版業者としての自負が読み取れる。読者が余計な出費をしないように、読者のために本作りをしているという Moseley のメッセージは、その後も何度か出版物に現れることになる。Moseley はさらに、すべてのテキストは作家自身の原稿に寄ることを述べ、その印刷原稿が信頼できることを強く強調している。

1647 年に戯曲集を folio 版で出版するには、かなりの覚悟が必要であったと思われる。1642 年に始まった清教徒革命は議会派が王党派に対して力を強めており、この時代に国王の庇護にあった演劇界を擁護することは、自分が王党派に組み入ることを公表することになる。劇場閉鎖になって久しく、劇場が再開されるめども立たないこの時代に、元 King's Men の座付き作家の作品集を出すことは、危険なことであったかもしれない。

I should scarce have adventured in these slipperv times on such a work as this, if knowing persons had not generally assured mee that these *Authors* were the most unquestionable *Wits* this *Kingdome* hath afforded" (sig.A4)

Moseley は「このよう不安定な時勢」に、「これほどの作品を出すという冒険」は容易ではないことを認めている。しかしながら、演劇界を擁護することにもなりうるこの出版で、Moseley が何らかの痛手を被った事実は確認されていない。それどころか、Moseley はそれ以降、次々と劇作品の出版をするのである。folio 版の出版はまた、Beaumont と Fletcher が 2 大作家に並ぶ才能を持つ作家であることを示唆するものであり、Moseley は危険を冒してまでも、

劇場が再開された後の名声を狙っていたとも考えられる。

Moseley の言葉の中で、一番読者の記憶に留まったのは、*Wild-Goose Chase* の manuscript が紛失しており、現在持っている人はすぐに返してほしいというコメントであろう。この言葉はそれなりに効果があったようで、何らかの形で、manuscript は彼の元に届き、彼は、1652年この作品を出版している。それも、たった一作品であるにも関わらず、folio 版で出版している。単独作品は quarto 版で、全集、戯曲集は folio 版で出版されるのが通例であった時代に、単独作品を folio 版で出版するのは非常に珍しいことである。もちろん、先に出版してある folio 版にあわせて緩いなおすことが出来るようにとの配慮である。

作家と読者のことを第一に考えた Moseley の本作りの姿勢は、この Beaumont and Fletcher の Folio 版から始まり、後の Shirley の作品出版においても生かされることとなる。

3. Shirley と Moseley

Shirley の作品は、1629 年出版の *The Wedding* に始まり、ほぼ 1 年に 1 作品のペースで、Andrew Crooke と William Cooke の出版業者をはじめ、いくつかの出版業者から出版されている。⁵⁾ 出版業者 Moseley と劇作家 Shirley の出版上での付き合いは、1646 年に Moseley が、Shirley の *Poems* を octavo 版(八つ折本)で出版したことから始まる。Moseley はこの時期、詩集を次々と出版しており、1645 年に Milton, Waller, 1646 年に Shirley の詩集を、どの作品も *Poems* というタイトルをつけ、作家の肖像画を載せ、octavo 版で出版している。⁶⁾ Moseley と Shirley との結びつきの強さは、翌 1647 年出版の Beaumont & Fletcher の folio 版から伺える。テキストが始まる前に多くの人からの賛辞の言葉が収められているのだが、その最初に「読者へ」を書いているのが James Shirley である。Fletcher, Massinger の後に、Shirley が King's Men の最後の座付き作家であったからであろう。作家がすでに亡くなっていることから、Shirley が実質上の編集者であったとも考えられている。編集者と出版業者は、一冊の本を世に送り出すために、協力して

仕事をしなくてはならない。Shirley と Moseley との信頼関係は強かったものと思われる。

Moseley は 1653 年に *Six New Playes* と銘打った Shirley の戯曲集を octavo 版で出版している。James Shirley の *Six New Playes* (1653) と Beaumont と Fletcher の *Comedies and Tragedies* を比較すると、共通点は、肖像画が刷られ、これまで出版されたことのない作品だけが収められていることである。作品がまとめられ、肖像画がつけられることで、作品よりも作者が前面に押し出され、作家により焦点が当てられることになる。相違点はサイズであり、folio 版に対して octavo 版はかなり小さい印象を受ける。初めて出版される作品ばかりであることが強調され、劇の上演を見ることが出来なくなった時代に、見るための劇ではなく、読むための劇を出版しているという Moseley のメッセージが読み取れる。作品ごとに表紙がついていて、作品ごとにページ数が割り振られているのは同じであるが、*Six New Playes* の方は、作品ごとに Shirley の献辞がそれぞれ異なった人物に向けて寄せられている特徴がある。6 作品で一冊として出版されながら、一作一作を別々の本として綴ることが出来るように作られている。Early English Books Online には、Folger Shakespeare Library の 2 冊のコレクションのテキストが電子化されている。そのうちの 1 冊は、表紙に書かれた作品順とは異なる順番で綴じられている。作品順番の異なる本が存在することは、この作品が別々の一作として綴じられた可能性があることを示していると Greg は述べている。⁷⁾ 献辞が別々に書かれていることから、Shirley がそれぞれを装丁して、それぞれのパトロン宛に贈ったと考えることも可能である。manuscript ではなく、印刷物として献辞をつけてパトロンに贈ることに同様の、またはそれ以上の意味があったと思われる。

Six New Playes には、*The Brothers*, *The Sisters*, *The Doubtful Heir*, *The Imposture*, *The Cardinall*, *The Court Secret* の 6 作品が収められている。表紙には、6 作品名と、5 作品がブラックフライアーズ座で上演され好評だったこと、最後の作品はこれまでに上演されていないこと、作家 James Shirley の名前、これま

で出版されていないこと、そして、出版業者の情報 (Printed for *Humphrey Robinson* at the Three Pigeons, and *Humphrey Moseley* at the Prince's Armes in St. Paul's Church-yard.) と 1653 の年号が書かれている。Shirley の献辞がすべての作品についていることはまた、Shirley がこの出版に深く関わっていたことを物語っている。そのため、表紙に書かれた作品名も年号も正確である確立はきわめて高い。最後から2番目の作品 *The Cardinal* と最後の作品 *The Court Secret* の間には、Shirley の作品リストも載せられていれば、*The Court Secret* の登場人物表の下には、これから出版される本の広告として、Fletcher の *The Wild-Goose Chase* も書かれている。実際、Moseley は、自分の出版カタログを本の後ろに載せることがあった。Moseley によって出版された Shirley の次回作 *The Politician* の最後には、Moseley の出版カタログが載っていて、作品の長いリストがある。リストの中には、最近出版されたリストに加えて、出版予定のリストもある。⁸⁾

6 作品の中の5作品は上演されたことがあったが、最後の作品である *The Court Secret* は、劇場閉鎖のために上演されることのなかった作品である。Shirley の *Poems* を出版した 1646 年に Moseley は5作品の出版登録を Robinson との連名により行っている。一方、*The Court Secret* の方は、1653 年で、Moseley 一人の名前による出版登録である。この作品の manuscript が Moseley の手元に入ったのも遅く、そのため出版登録も一作だけあとになったのではないだろうか。それならば manuscript はどこにあったのか。Moseley が 1646 年に出版登録をした5作品にも、1653 年に出版登録をした *The Court Secret* にも Shirley が献辞を書いていることから考えても、manuscript が作家の手元にあったとは考えにくい。1646 年に Shirley の手元にあったのならば、1653 年まで出版登録を遅らす理由はないからだ。まだ上演されていないこの芝居の権利を主張して、Kings' Men が手放さなかったのだろうか。King's Men の上演作品がほとんどが Moseley によって出版登録されているのに、そのようなことがあるのだろうか。または、*Wild-Goose Chase* のように、何人かの人間が貸し借りをしているうち

に紛失してしまい 1646 年の時点では見つかったいなかったのだろうか。*The Court Secret* は出版登録だけでなく、印刷されたのも後からだと考えられている。そのため、Shirley の作品リストも、*The Cardinal* と *The Court Secret* の間に挟まれる形になったのだと推測される。

Six New Playes が出版された2年後の 1655 年、Moseley は、Shirley の *The Politician*, *The Gentleman of Venice* の2作品を、quarto 版 と octavo 版の2種類で出版している。quarto 版 はそれ一冊として読むことができるように、octavo 版は先に出版された *Six New Playes* と一緒に装丁しなおすことができるようにとの配慮である。*Wild-Goose Chase* を一冊だけでも folio 版で出版した Moseley は、ここでは2種類のサイズで同じ作品を出版しているのである。Moseley のこの心配りに Shirley との関係の強さが現れている。それならば、*Six New Playes* と *The Politician*, *The Gentleman of Venice* 一緒に綴じられたのだろうか。

4. 大英図書館に存在する *Six New Playes* と

The Gentleman of Venice

大英図書館は2冊の *Six New Playes* を所有している。1冊は Shelfmark: 18784 で、16.8×10.5cm の大きさで、Thomas Grenville の装丁が施されている *Six New Playes* そのものの version である。もう一冊は、Shelfmark: C12.119. 16.5×9.7cm で George III のマークが背表紙にある。Moseley は、*Six New Playes* にあわせて綴じられるようにと、*The Gentleman of Venice* と *The Politician* を同じサイズである octavo 版で出版したはずであった。しかし、この2作品と *Six New Playes* が一緒に綴じられている本は大英図書館には存在しなかった。この C12.119 は6作品の前に *THE TRIUMPH OF BEAUTIE* (1646)、6作品の後ろに *THE CONTENTION OF Ajax and Ulysses, FOR THE ARMOR OF ACHILLES* と *HONORLA AND MAMMON* (1659) の2作品と一緒に綴じられている。しかも、後ろの2戯曲は、Moseley ではなくて、John Crook によって 1659 年に出版されたものである。

The Gentleman of Venice は、大英図書館の中で、3冊を閲覧することができた。1冊目は単独の一作だ

けの C.34.e4 で 19.4×14.5cm の quarto 版である。2冊目は cup404.b.4 で、*The Politician* が一緒に綴じられており、16.2×10.2cm の octavo 版である。つまり、Moseley が一緒に綴じることができるようにと意図して作った octavo 版である。最後の1冊は、*The Politician* を含む Shirley の7作品と一緒に綴じられ装丁してある C12.f18 で 17.2×12.5cm の大きさの本である。上記2冊の中間の大きさのこの本は、signature(背丁)の割り振りが C34.e4 とほぼ同じで、さらに紙には同じ pot の watermark(透かし)が入っていることから、quarto 版を切って、他の7作品と一緒に製本したことがわかる。3冊とも印字は同じであるので、同じ型に組まれた印字を違う大きさの紙に印刷したことがわかる。

2冊の *Six New Playes* に違う装丁がしてあるように、3冊の *The Gentleman of Venice* は、まったく違った大きさ、装丁、で存在しているのである。その一方で、9作品 (*Six New Playes* プラス3作品) が一緒に綴じられている C12.f19 と Shirley の8作品と一緒に綴じた C12.f18 は、大きさは違うものの、Shirley's Plays 5, Shirley's Plays 4 と背表紙にあり、Thomas Grenville の同じ装丁がしてある。Moseley が出版した他の劇作はどのようになっているのだろうか。

Moseley は、Richard Brome の *Five New Playes* (1653) と Massinger の *Three New Playes* (1654) を同じように octavo 版で出版している。数字と「新作」を表題に持つこの戯曲集は作者の肖像画を持ち、同じようなフォーマットで作られている。Moseley は、どこでも簡単に読めるこのサイズの版を、一つのシリーズにしようと思図していた。出版時期の異なる同じ作家の作品をあとから一緒に綴じることができるように、同じサイズで印刷出版した Moseley の意図は、ある意味では成功していたのだと思われる。その成功の証が、William Cavendish の *The Country Captain* と Richard Brome の *Five New Playes* に見て取ることができる。

William Cavendish の *The Country Captain* は *Varietie* との2作品で一冊に綴じられている本である。*The Country Captain* は England ではなく Hague で出版されている。表紙には、In S'Grave VAN HAGHE / Printed

by SAMUELL BROUN English Bookseller at the Signe of the English Printing house in the Achter-one.とある。一方 *Varietie* の表紙には、Humphrey Moseley の名前がある。2作品を綴じて一冊にしてあるのだが、本の表紙には Printed for Hum: Robinson at Three-Pidgeons, and Hum: Moseley at the Princess Armes in St. Pauls Church yard, 1649 の文字が書かれている。大陸と England で印刷された2作品が共に綴じられ、さらに Moseley の表紙がついている。別々に印刷されながらも、Moseley の意図は大陸を超えて伝わっていたことがわかる。

Richard Brome にはもう一つの *Five New Playes* が存在している。1653年に出版されたはずの *Five New Playes* は、同じ作家、同じタイトルの出版物として、6年後の1659年に別の出版業者から出版されている。表紙には Printed for A.Crook at the Green Dragon in Saint Pauls Church-yard, and for H. Brome at the Gunn in Ivy-Lane, 1659 とある。Moseley の出版した *Five New Playes* を別の出版者が重版したように見えるが、そうではない。中に収録されている作品は一作も、Moseley の出版した *Five New Playes* と重なることはなく、まさに「新作」である。しかし、Brome の5作品を Moseley の出版物と同じタイトルで、さらに同じサイズの octavo 版で出版したところに、当時の Moseley の影響力の強さを見ることが出来る。Moseley が octavo 版で戯曲集を出版していなければ、他の出版業者が octavo 版で出版することはなかったであろう。ましてや、Moseley が出版した戯曲集とそっくりの戯曲集を出版する出版業者も現れなかったことであろう。

5. *Six New Playes* の binding の謎

最後に大英図書館の2冊の *Six New Playes* に話を戻したい。G18784 のマークは Thomas Granville[1755-1846]のために、装丁された本であった。Granville は政治家で、大英博物館の管財人である。C12.19 は King George III(在位 1760-1820)の個人の library のために装丁された本である。どちらも binding が 18世紀以降にしなおされているわけである。C12.f.18 の一番前に綴じられている The TRIUMPH OF BEAVTIE は、

他の作品よりもやや小さく、15.5×9.8 の大きさである。また、C12.f18 の Shirley の 8 作品が一緒に綴じられている本では、一作一作の大きさがばらばらで、見るからに違う本を一緒に綴じたことがわかる。C12.f19 の 9 作品 (*Six New Playes* と 3 作品) は、King's Library の所有になる前に、一緒に綴じられていたのか、それとも King's Library の所有になって一緒に綴じられたのか。Binding の記録は大英図書館にはなく、推測するしかない。ただし、Shirley の *The Gentleman of Venice, The Politician* を含む 8 作品が一緒に製本されている C12.f18 が同じ装丁で、C12.f18 は背表紙に Shirley's Plays 4、C12.f19 は Shirley's Plays 5 とのマークが入っていることから、同時期に装丁されたと考えられる。

16,17 世紀には、本は購買されるまで、binding されることは普通ななかった。購買者は、binding をしてくれる業者に頼むこともあれば、本屋で binding を頼むこともあった。binding という英語を日本語にすると、「綴じる」「装丁する」「製本する」という意味になるが、一緒に綴じて製本したようである。表紙を vellum にするか parchment にするかで、値段も変わってくる。binding なしで売られていたとはいえ、1枚ずつの紙ではなく、紙で包まれてばらばらに散逸しないようになってはいたようである。¹¹⁾

Moseley の店から 1653 年以降に *Six New Playes* を購入し、John Crook の店から 1659 年以降に、*THE CONTENTION OF Ajax and Ulysses, FOR THE ARMOR OF ACHILLES* と *HONORIA AND MAMMON* を購入した読者が、一緒に綴じて装丁した、または、してもらったという可能性が全くなくなったわけではないが、C12.f19 が大きさの違う大きさの紙の作品を、無理やり装丁したことから考えると、C12.f18 の *Six New Playes* も同様に、同じ時期に図書館所有となった作品を一緒に装丁したと考える方が妥当であろう。

Honoria and Hammon の前には Shirley の別の肖像画も載っており、この作品が別の作品の後に一緒に綴じられることを意図して出版されていないこともわかる。*Honoria and Hammon* の To THE CANDID READER の中で、Shirley は二つの大きな発表を読者に向けて行っている。一つは、この作品が最後の作

品になるであろうということ、もう一つは、献辞を書かなかった理由である。

I will onely adde, it is like to be the last, for in my resolve, nothing of this nature shall after this, engage either my pen or invention....The reason why I make no particular Dedication to any Friend, is, because I aim my general respect to all, whose favours and civilities have oblig'd me....(Sig.A3)¹⁰⁾

Shirley が「気落ちしていた」のかどうかはわからないが、この出版の翌年、王政復古により劇場が再開するが、Shirley が演劇界に戻ることはなかった。¹¹⁾ *Six New Playes* で一人ひとりに向けて献辞を書いた Shirley は、その当時何人ものパトロンが必要だったのだろうか。それとも、Moseley が Shirley に献辞を書くことを勧めたのだろうか。Massinger は、すでに、1654 年の出版で、献辞を書くことはすでに時代遅れになっていると記している。¹²⁾ Shirley の読者に向けてかかれた最後の言葉に、Moseley の本作りとは違った香りを、かぐことが出来る。1646 年、共に Beaumont and Fletcher の folio 版を出版するにあたって Moseley と Shirley は多くの賛辞を集め、二人とも長い文章を寄せている。劇場が閉鎖された時代に作品集を出版しようという意気込みが感じられる。二人の関係の強さが 1653 年には Shirley の 6 作品を出版し、1655 年には Shirley の 2 作品を quarto 版と octavo 版の両方の大きさで出すことへとつながっている。しかし、1659 年に出版された *Honoria and Hammon* の To THE CANDID READER の Shirley の言葉の中には、もはや、その当時の意気込みは感じられない。1660 年に新たに何冊もの出版登録をしておいた Moseley は、病気がちで、1661 年に亡くなっている。遺書で妻と娘に事業を託したのではあったが、二人はあまり事業には向いていなかったようである。Shirley はロンドン大火の後すぐに 1666 年亡くなっている。

Six New Playes の前と後ろに 3 作品が綴じられた大英図書館に所有されている本(C12.F.18) が、いつ共に綴じられ装丁されたのかは、現時点では謎のままである。多くの貴族が美しい装丁の本のコレクション

ンをそろえるために、本を装丁しなおした中で、George III は King's Library に、自分で読むために、他の人が読むために、本を集めていたようである。¹³⁾ その過程で、同じ時期に王の図書館の所有になった本が、一緒に綴じられることはあったようである。ひとつだけいえることは、Moseley の octavo 版での劇作のシリーズ化と、劇作をまとめて binding できるようにと心がけた本作りは、他の出版業者を巻き込むほどに成功したということである。そしてその出版業者の心意気が、時代を経て18世紀に、作品をまとめて装丁製本する流れへと続いていくことになったのである。

註：

- 1) *Six New Playes* を始め、本論では出版物のスプリングはすべて当時のままのスプリングを使用している。
 - 2) Humphrey Moseley については、John Curtis Reed, 'Humphrey Moseley, Publisher' *Oxford Bibliographical Society Proceedings and Papers* Vol.II No.2 (Oxford, 1929) pp.60-142. を参照。出版物の記録としても貴重な資料である。
 - 3) R.G.Howarth, "A Manuscript of James Shirley's *Court Secret*" in *R. E. S.* vii (1931) pp.302-13. を参照。Howarth のこの論文は *The Court Secret* の manuscript について論じた唯一の論文であり、80年以上を経た現在でも最も重要な論文となっている。
 - 4) Francis Beaumont and John Fletcher, *Comedies and tragedies* (1647).
 - 5) Allan H. Stevenson, "Shirley's Publishers: The Partnership of Crooke and Cooke". *The Library Fourth Series* vol.25 (1945) pp.140-161 を参照。
 - 6) Paulina Kewes, 'Give Me the Sociable Pocket-books...': Humphrey Moseley's serial publication of octavo play collections. *publishing History*, 38 (1995) p.5 本論は Kews の Moseley が Octavo 版をシリーズ化しようとしていたという論に大いに依るものである。
 - 7) W.W.Greg. は以下のように説明している
- Although individual plays from the collection sometimes occur singly, there is no evidence that there were every separately issued, unless it be that in Thomason's copy...the plays do not appear in the order given in the title. *Bibliography of English Printed Drama to the Restoration*, Bibliographical Society Vol.3.(Oxford, 1957) p.1123.
- 8) 広告カタログのファクシミリ版は次の書物に入っており、出版リストは246番まで続いている。(実際の作品名は247作品) *Three Books On Fishing* (Scholars' Facsimiles & Reprints, 1962).
 - 9) Peter W.M. Blaynery, *The First Folio of Shakespeare* (Folger Library Publications, Washington, D.C. 1991). を参照。Blaynery には、Vellum や parchment の表紙の写真も載っている。McKerrow は、出版業者が binding を始めたのは、1600年から1668年の間のいつかとしている。Ronald B. McKerrow, *An Introduction to Bibliography for Literary Students*. (Oxford: Clarendon Press, 1928). p.124. を参照。Booktrade に関しては、*The Cambridge History of Book in Britain Volume IV 1557-1695*, ed. by John Barnard and D.F. McKenzie (2002). が詳しい。
 - 10) Shirley, James. *Honoriam and Mammon* (1659)
 - 11) Bentley は 'Had Shirley reformed, or was he despondent?' と書いている。Gerald Eades Bentley, *The Jacobean & Caroline Stage V*. p. 1119.
 - 12) *Plays and Poems of Philip Massinger Vol. I* ed. by Philip Edwards and Colin Gobson (Oxford: Clarendon Press, 1976). p. xxxvii.
 - 13) 本の binding の情報に関しては、大英図書館の学芸員、Philippa Marks 氏に大変お世話になった。ここに感謝する。

Bibliography

Primary Text

Beaumont, Francis, and John Fletcher, *Comedies and Tragedies* (1647)

Beaumont, Francis, *The Wild-Goose Chase* (1652)

- Brome, Richard. *Five New Playes* (1653)
 ----- *Five New Playes* (1659)
- Cavendish, William, *The Country Captain and the Varietie*
 (1649)
- Massinger, Philip. *Three New Playes* (1654)
- Shirley, James. *The Gentleman of Venice* (1655)
 ----- *Honoria and Mammon* (1659)
 ----- *The Politician* (1655)
 ----- *Six New Playes* (1653)
- Secondary Text
- Barnard, John and D.F.McKenzie ed. *The Cambridge History of Book in Britain Volume II' 1557-1695* (2002)
- Blaynery, Peter W.M. *The First Folio of Shakespeare*.
 (Washington.D.C.:Folger Library Publications, 1991).
- The Country Captain By William Cavendish, Earl of Newcastle* The Malone Society Reprints, Vol.162,(1999)
- French, Joseph Milton. *Three Books On Fishing*.
 (Scholars' Facsimiles & Reprints:Gainesville, 1962)
- Gaskell, Philip. *A New Introduction of Bibliography*. (Oak Knoll Pr. 2000)
- Greg.W.W. *Bibliography of EnglishPrinted Drama to the Restoration*, Bibliographical Society Vol.3. (Oxford, 1957)
- Heawood, Edward, *Watermarks Mainly of the 17th and 18th Centuries*, (Hilversum, 1950)
- Howarth, R.G. "A Manuscript of James Shirley's *Court Secret*" in *R. E. S.* vii , (1931) pp.302-13.
- Kewes, Paulina, "Give Me the Sociable Pocket-books..." Humphrey Moseley's serial publication of octavo play collections. *Publishing History*, 38 (1995)
- Plays and Poems of Philip Massinger Volume 1* ed.by Philip Edwards and Colin Gobson. (Oxford: Clarendon Press, 1976)
- Reed, John Curtis. 'Humphrey Moseley, Publisher' *Oxford Bibliographical Society Proceedings and Papers*, Vol. II No.2 (1929) pp.60-142.
- Stevenson, Allan H. "Shirley's Publishers: The Partnership of Crooke and Cooke". *The Library Fourth Series* vol.25. (1945) pp.140-161.
- Short-title Catalogue of Books Printed in England, Scotland, Ireland, Wales, and British America and of English Books Printed in other Countries 1641-1700. Compiled by Donald Wing. Volume 1 The Modern Language Association of America, New York, 1994.